

Broaden your horizons ～さあ、視野を広げて!～

ハロウィンが終わり、街にクリスマスモードが漂いはじめました。クリスマスカラーといえば赤と緑ですが、なぜこの2色なのか、皆さんはご存じでしょうか。

そもそも、クリスマスとはイエス・キリストの降誕を祝うお祭りなのです。そして赤色は「キリストの血」を表しています。全ての人の罪をかぶって流した血です。それゆえに「神の寛大さと愛」という意味が込められています。

次に緑色ですが、クリスマスのシンボルともいえるモミの木を表現しているそうです。モミの木は冬の間も緑を保つ常緑樹であることから、「力強さや永遠の命」といった意味があります。そのほか、雪が降ったときにホワイトクリスマスというように、白もクリスマスカラー。純潔や純白という意味があります。

最後にもう1つクリスマスカラーがあります。それはツリーの頂上に飾るトップスターの色。そう、ゴールドです。これはキリストが生まれたときに現れたといわれている「ベツレヘムの星」を模しているそうで、「高貴さ、希望」を意味します。

毎年飾られるクリスマスの装飾のカラーの持つ意味を知ると、また違った楽しみ方を見つけられるかもしれません。

メディセレスクール ファウンダー 児島 恵美子